

崇広中だより

TEAM SUKO 2024



No.07 2024.10月号
発行者 崇広中学校長

クласカラーのはちまちで 体育祭！ みんなの活躍

10月1日（火）の文化祭で各種発表に続き10月25日（金）、秋晴れにめぐまれ、体育祭を無事開催することができました。種目は、学年毎の「犬縄跳び」「全員リレー」「綱引き」「玉入れ」の4種目と、3年生の「南中ソーラン」です。競技はもちろんのこと、いろんな場面でかけ声を出し、砂まみれになり、笑顔で拍手を送り、まさに「それぞれちがう役割でさまざまな場面で」活躍がありました。崇広中 生徒会の底力を見せてもらいました。



各種目、軽快な実況中継アナウンスが続きました。



生徒会企画「渡木先生（現役ランナー）に挑戦」では5人の先生が見事に追い抜かれてしまいました！

南中ソーランは、本校の伝統の一つになっています。
3年生も気持ちの入ったすばらしい演技・パワーは、今後、1,2年生に必ず引き継がれていきます。

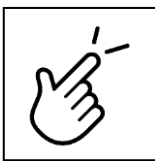


1. 2年生で薬物乱用防止教室「他人事から自分事へ」

三重県警察署及び伊賀警察署の協力を得て、10月11日（金）1. 2年生を対象に「薬物乱用防止教室」を実施しました。あわせて「暴力団対策法」について学習しました。

麻薬や覚醒剤の使用（所持も）が非合法であることはもちろんですが、中毒性が強いいため、軽い気持ちでの使用が、その後の人生に大きなマイナスの影響を与えてしまいます。

講師の方からは「このことを他人事に思わず、自分に寄せて考えてみて!」と事例をイラストや図を使って、わかりやすい話題提供をいただきました。この学習で実際に誘われたときのロールプレイなども行い、毅然と断ることの大切さを学びました。



崇広中学校では、これまで「交通安全教室」や「ネットモラル教室」などを実施してきました。今後も「いのちのはぐくみ教室」（11/1に2年生で）「救急救命教室」（11/11.15に2年生で）などの学習を行う予定です。教科の学習とともに、社会に出た後にも必要となる「生きる力」を育む学習を進めていきます。また、各学年で人権学習（山なみ学習）を進めています。「自分を大切に、自分と同じくらい周りを大切に生きる生き方」「すべての人が生きやすい社会」をめざし、考えを深めています。

★11月9日（土）は『崇広中学校区地域ぐるみヒューマンフェスタ』が開催されます。保護者の皆さまもご家族・ご近所お誘いあわせの上、ぜひご参加ください。

3年生で人権学習（山なみ学習）「人権の基礎基本」

10月15日（火）に公益財団法人反差別・人権研究所みえ常務理事兼事務局長の松村元樹さんをお迎えし「人権の基礎基本～無関心でいられても無関係でいられない人権問題～」をテーマにお話を聴かせていただきました。「正しいことを知らない、誰もが偏見等をもたされる社会にあるなかで、無意識に誰かを傷つけてしまったり、結果として差別を支えてしまうことがあるかもしれない」等、事例を交え考え合い、自分の生活を振り返りました。またCMなどでよく知っている企業（メーカー）の人権を尊重する取組紹介も興味深かったです。

生徒からも「社会は自然に変わるものではなく、自分の意識が変わらないといけない。こんなふうで考える時間が必要やと思う」「多数派にいと少数派の意見に気づけないことも多い。みんな無関係ではないので、学習したり行動することが大切だと思う」などの意見もあり、卒業後の生活や人間関係に生かせる学びの機会となりました。



意見に気づけないことも多い。みんな無関係ではないので、学習したり行動することが大切だと思う」などの意見もあり、卒業後の生活や人間関係に生かせる学びの機会となりました。

◎令和5年3月、文部科学省が打ち出した「誰一人取り残さない学びの保障に向けた不登校対策『COCOLOプラン』」をふまえて、「校内教育支援センター」の設置が全国的にも広がっています。崇広中学校にも、三重県教育委員会、そして伊賀市教育委員会の指導のもと、設置されています。伊賀市では、崇広中学校にのみならず、子どもたちの学びの保障や居場所の確保等、一人ひとりに応じた多様な支援が行えるよう努めているところです。